



2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月13日

上場会社名 株式会社ゴルフ・ドゥ
コード番号 3032 URL <https://www.golfdo.co.jp/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐久間 功

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 並木 健二

TEL 048- 851- 3111

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	4,370	1.9	1		5		24	
2024年3月期第3四半期	4,290	9.1	20		57		84	

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 6百万円 (%) 2024年3月期第3四半期 70百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	9.86	
2024年3月期第3四半期	33.60	

2024年3月期第3四半期及び2025年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	3,587	790	21.0	300.41
2024年3月期	3,373	801	22.9	308.09

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 752百万円 2024年3月期 772百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		5.00	5.00
2025年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	12.6	50		40		20		7.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	2,605,642 株	2024年3月期	2,605,642 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	99,200 株	2024年3月期	99,200 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	2,506,442 株	2024年3月期3Q	2,506,442 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
3. 補足情報	10
売上高前年対比等	10

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価高騰の波が押し寄せるとともに実質賃金のプラスは続かず、個人消費は依然として力強さに欠けております。しかしながら旅行、レジャー等の娯楽関連消費は比較的堅調であり、円安を追い風とした訪日外国人客数とその消費額も過去最多となり、緩やかながらも回復への歩みを進めております。海外においては、経済面で米国が一人勝ちの様相を呈する一方で、中国では経済の停滞が続き、中東を始めとした軍事的な緊張の高まり等の地政学的リスクもあり、先行き不透明な状況が続いております。

リユース市場においては、新聞折込みチラシ等リユースショップの広告を目にしない日は無いほど買取りが生活に溶け込むようになり、旺盛な訪日外国人消費も加わって既存各社は総じて成長を見せるとともに、新規参入やM&Aも相次いでおります。また、自社製品の二次流通における製造業等の参入情報を目にする機会は明らかに増えており、市場は右肩上がりでも拡大しているものと推測されます。

ゴルフ用品市場においては、日本人プロの海外における活躍があったものの、全国的に夏から秋にかけて過去最高気温またはそれに匹敵する高温に加えて台風、大雨もあり、小売店は総じて厳しい状況が続いたものと推測されます。また、秋のベストシーズンが近年短くなる傾向にあり、気候変動によるゴルフ環境の悪化に伴った市場の変化が危惧されます。なお、株式会社矢野経済研究所「Y P S ゴルフデータ」によりますと、2024年10月～12月の新品クラブ及びボール等用品類のカテゴリー合計前年同月比（販売数量ベース・金額ベース）は、10月94.9%・95.3%、11月100.1%・111.0%、12月94.6%・92.5%となっております。11月はNEWモデルの発売やマークダウン（値下げ）によって需要が形成されたようです。また、2024年（1月～12月）の合計は、数量ベース99.1%・金額ベース100.7%となっております。

ゴルフ場及び練習場においては、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によりますと、2024年10月～12月の利用者数前年同月比（ゴルフ場・練習場）*は、10月94.9%・94.3%、11月96.9%・97.8%、12月101.5%・96.3%となりました。他レジャーとの競争による初心者への離脱や、短い「秋」が影響しているものと推測されます。*12月は速報値です。

このような経営環境のなか、当社グループにおいては、「ゴルフドゥ！オンラインショップ」を7月にリニューアルしたことによりスピード、操作性、安定性等が向上し、「ゴルフドゥ 中古クラブ楽天市場店」、「メルカリ Shops」とともに、店頭が暑さによる客数減少で厳しかった時期に補完機能としての威力を発揮いたしました。更には9月に下取り機能を活用した新サービスとして「買替え割」をスタートしましたが、10月以降の買取りは前年同月の倍増で推移しており、中古クラブ在庫の強化につながっております。なお、2025年1月にはご購入時のポイント付与を開始するとともに、オムニチャネル化に向けた「ゴルフドゥ！」店舗と「ゴルフドゥ！オンラインショップ」の会員統合を図っております。実店舗においては、ゴルフスクール「ゴルフドゥ！STUDIO レッスン&フィッティング」がスタートして1年以上が経過しましたが、会員数の増加に伴って収益の安定性も増しております。また、当社の更なる認知度向上を図るため、11月に日本プロゴルフ協会（PGA）公認A級ティーチングプロであり、YouTubeチャンネルの登録者数が45万人を数える菅原大地氏と「ゴルフドゥ！」のイメージキャラクター契約を締結しております。費用面においては、前第3四半期連結累計期間と比較し大きく上回っているものとして、パートタイマーの時給改定と不足する社員に代わる人員の増加による雑給、クレジットカード及びECモール（楽天市場、メルカリ Shops）出店手数料の増加による支払手数料、ECサイトの拡大等に伴う保守料、ECサイトの送付用段ボール箱及びパソコン購入の増加による消耗品費があげられます。

直営事業においては、5月から続いた「ゴルフドゥ！」直営店の当月売上高の記録更新が10月で途切れてしまったものの、11月、12月は再び記録更新となりました。また、5月、6月は2ヶ月連続で月間売上高が新記録となり、EC系販売がしっかり支えていることで、売上高は高い水準で推移しております。なお、当第3四半期連結累計期間の同店の売上高前年増減率（当社子会社の運営店舗を含まず）は、全店ベースで6.0%増、既存店ベースで5.8%増となりました。

フランチャイズ事業においては、「ゴルフドゥ！」フランチャイズ店の店舗数減少に伴うロイヤリティの減少が続いているものの、既存店においてはEC系販売を活用することで、在庫量が多い直営店と比べて売上高のインパクトは限定的ながらも健闘が続いております。なお、当第3四半期連結累計期間の同店の売上高前年増減率（当社子会社の運営店舗を含む）は、全店ベースで3.2%減、既存店ベースで2.6%増となりました。

当第3四半期連結累計期間における「ゴルフドゥ！」の新規オープンはなく、2024年12月31日現在の「ゴルフドゥ！」は、直営24店舗、フランチャイズ45店舗（当社子会社運営店舗を含む）、合計69店舗、チェーン合計の売上高前年増減率は、全店ベース1.1%増、既存店ベース4.2%増となりました。

営業販売事業においては、米国輸入品のコスト高により魅力あるものが品数、量ともに限定されており、やむなく卸売りへの優先投入を続けております。一方で国内ECモールに出店する「GOLF J-WINGS」は、商品ラインナップに厳しい状況が続いております。米国子会社は米国内向け小売りへの注力を続けていますが、日本への卸売りの穴を埋めきれない状況が続いております。

アパレル事業においては、10月～12月の粗利益率は前年同期を上回ったものの、主に不安定な気温による客数の伸び悩みが売上高に大きく響き、売上高減少に伴って粗利益も減少いたしました。また、人員体制が安定せず、特に接客を必要とするアウター等の高単価品の販売に影響がでました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は売上高43億70百万円（前第3四半期連結累計期間は売上高42億90百万円）、営業利益1百万円（前第3四半期連結累計期間は営業損失20百万円）、経常利益5百万円（前第3四半期連結累計期間は経常損失57百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失24百万円（前第3四半期連結累計期間は親会社株主に帰属する四半期純損失84百万円）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

（直営事業）

当第3四半期連結累計期間における直営事業の売上高は34億68百万円（前年同四半期売上高は32億40百万円）、セグメント利益は2億27百万円（前年同四半期セグメント利益は1億93百万円）となりました。

（フランチャイズ事業）

当第3四半期連結累計期間におけるフランチャイズ事業の売上高は3億14百万円（前年同四半期売上高は3億48百万円）、セグメント利益は35百万円（前年同四半期セグメント利益は24百万円）となりました。

（営業販売事業）

当第3四半期連結累計期間における営業販売事業の売上高は6億80百万円（前年同四半期売上高は7億46百万円）、セグメント利益は8百万円（前年同四半期セグメント利益は2百万円）となりました。

（アパレル事業）

当第3四半期連結累計期間におけるアパレル事業の売上高は34百万円（前年同四半期売上高は40百万円）、セグメント損失は0百万円（前年同四半期セグメント利益は1百万円）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は27億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億86百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1億32百万円、商品が63百万円増加したことによるものであります。固定資産は8億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円増加いたしました。これは主に無形固定資産が75百万円増加、有形固定資産が30百万円、繰延税金資産が28百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、35億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億14百万円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は18億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億31百万円増加いたしました。これは主に買掛金が1億48百万円減少、短期借入金が2億7百万円増加したことによるものであります。固定負債は9億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ93百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、27億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億25百万円増加いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は7億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が37百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は21.0%（前連結会計年度末は22.9%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年8月13日付で公表いたしました内容（詳細は同日付公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。）に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	671,090	803,759
売掛金	305,048	316,651
商品	1,519,392	1,582,566
短期貸付金	3,600	—
未収還付法人税等	16,031	397
その他	56,419	51,281
貸倒引当金	△3,914	△314
流動資産合計	2,567,667	2,754,343
固定資産		
有形固定資産	302,878	272,777
無形固定資産	216,277	291,588
投資その他の資産		
投資有価証券	40,704	57,344
長期貸付金	34,283	36,083
敷金及び保証金	172,350	172,414
繰延税金資産	46,594	18,368
その他	28,956	23,108
貸倒引当金	△36,451	△38,251
投資その他の資産合計	286,437	269,067
固定資産合計	805,594	833,434
資産合計	3,373,261	3,587,777
負債の部		
流動負債		
買掛金	438,493	289,727
短期借入金	670,000	877,909
1年内返済予定の長期借入金	211,188	248,120
未払法人税等	1,138	10,174
賞与引当金	20,614	11,592
ポイント引当金	34,150	31,905
株主優待引当金	15,356	11,112
その他	278,484	320,808
流動負債合計	1,669,426	1,801,349
固定負債		
長期借入金	606,472	689,963
退職給付に係る負債	166,905	177,227
資産除去債務	86,986	87,495
その他	41,800	41,206
固定負債合計	902,164	995,892
負債合計	2,571,591	2,797,242

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	515,838	515,838
資本剰余金	169,240	169,240
利益剰余金	76,659	39,406
自己株式	△98,208	△98,208
株主資本合計	663,530	626,277
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,476	29,529
為替換算調整勘定	90,201	97,160
その他の包括利益累計額合計	108,678	126,689
新株予約権	29,461	37,567
純資産合計	801,670	790,534
負債純資産合計	3,373,261	3,587,777

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	4,290,397	4,370,119
売上原価	2,670,418	2,695,348
売上総利益	1,619,978	1,674,770
販売費及び一般管理費	1,640,916	1,672,906
営業利益又は営業損失(△)	△20,938	1,864
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,423	3,409
受取手数料	4,495	4,082
為替差益	361	30
貸倒引当金戻入額	—	1,800
助成金収入	1,181	4,154
その他	3,185	1,505
営業外収益合計	10,646	14,982
営業外費用		
支払利息	7,834	10,704
貸倒引当金繰入額	38,314	—
その他	1,234	357
営業外費用合計	47,384	11,062
経常利益又は経常損失(△)	△57,675	5,784
特別損失		
固定資産除却損	1,518	0
特別損失合計	1,518	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△59,194	5,784
法人税、住民税及び事業税	7,256	7,706
法人税等調整額	17,766	22,798
法人税等合計	25,022	30,505
四半期純損失(△)	△84,217	△24,720
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△84,217	△24,720

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純損失(△)	△84,217	△24,720
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,527	11,052
為替換算調整勘定	9,864	6,958
その他の包括利益合計	13,391	18,011
四半期包括利益	△70,825	△6,709
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△70,825	△6,709
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,240,556	338,021	671,621	40,197	4,290,397	—	4,290,397
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	10,400	74,765	—	85,165	△85,165	—
計	3,240,556	348,422	746,386	40,197	4,375,562	△85,165	4,290,397
セグメント利益 又は損失 (△)	193,211	24,507	2,616	1,525	221,860	△242,798	△20,938

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,468,125	301,499	565,648	34,844	4,370,119	—	4,370,119
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	12,858	114,511	—	127,370	△127,370	—
計	3,468,125	314,358	680,160	34,844	4,497,489	△127,370	4,370,119
セグメント利益 又は損失 (△)	227,949	35,741	8,369	△736	271,323	△269,459	1,864

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	91,554千円	82,260千円
のれんの償却額	5,224	4,291

3. 補足情報

売上高前年対比等

当第3四半期連結累計期間における「ゴルフドゥ！」店舗売上高前年対比は、以下のとおりであります。

	2024年10月	2024年11月	2024年12月	第3四半期合計 (10月～12月)	第3四半期累計 (4月～12月)
ゴルフドゥ！全店	97.1%	107.2%	101.4%	101.8%	101.1%
ゴルフドゥ！既存店	100.3%	109.5%	104.2%	104.5%	104.2%
同 直営店 全店	100.3%	113.1%	101.6%	104.8%	106.0%
同 直営店 既存店	100.3%	111.8%	102.1%	104.5%	105.8%
同 F C店 全店	94.3%	101.9%	101.2%	99.0%	96.8%
同 F C店 既存店	100.2%	107.4%	106.1%	104.5%	102.6%

(注) F C店には当社子会社の運営店舗が含まれております。

当第3四半期連結累計期間におけるEC系の売上高前年対比、セッション数前年対比、会員数(合計)、会員数前年増加率は、以下のとおりであります。

	2024年10月	2024年11月	2024年12月	第3四半期合計 (10月～12月)	第3四半期累計 (4月～12月)
売上高前年対比	106.9%	118.1%	117.5%	114.0%	122.4%
セッション数前年対比	115.5%	125.5%	98.7%	112.3%	134.2%
会員数(合計)					449千人
会員数前年増加率					6.9%

(注) 1. 売上高前年対比及びセッション数前年対比は、EC系(「ゴルフドゥ！オンラインショップ」、「ゴルフドゥ 中古クラブ楽天市場店」及び「メルカリShops」)合計の対比です。

2. 会員数は「ゴルフドゥ！オンラインショップ」の会員数であり、「ゴルフドゥ！」店舗の会員数とは異なります。